

すくすくおもちゃだより 7月



逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本夢由香

2026.7.8

地階すくすくルームには、0～3歳頃のお子さんの発達に合わせた玩具を、沢山取り揃えています。今年度はこのおたよりにて、すくすくで人気の玩具を一部、紹介していきます。また私事ですが、東京おもちゃ美術館の『おもちゃコンサルタント』の資格を取得しましたので、その際に学んだ事（聞いた話）をひとことコラムとして少しお伝えしたいと思います。



センサーローラーズ

触ってみると分かりますが、ずっしりと重いボールです。それはあえて…で、ハイハイ時期にボールを転がした際、遠く行き過ぎない為、転がして追いかけて、を繰り返して楽しむ事ができます。転がすと音も鳴るので、より楽しめます。少し重いボールを手でつかみ、持ち上げる事を楽しむ姿もあります。



コネクタブルチェーンコビット

丸い玉をCの中にはめ込むと、長く繋がります。長くしたものを電車に見立てたり、へびに見立てたりして楽しめます。積木としても使えるので、上に積んだり、斜めに積んだり自由に積むことができます。同じコーナーにある木の踏切の横を走らせ「阪急電車！」や「JR!」と言って遊ばれる姿があります。



マグフォーマー

マグネットでくっつけて、立体的な形を作れる玩具です。ただ、すくすくでは、マグネットボードがある為、小さなお子さんは、ボードに貼り付けたり、貼り付けた物を取る事を楽しんでいます。3歳くらいになると、正方形を立体で作り、それをマグネットボードに張り付け「エレベーターだよ!」と言って、人形を乗せてみる姿もあります。



ひとことコラム ～ケラー社の車について～

ドイツのケラー社は1864年～スタートし、250年を超えた玩具メーカーです。その会社の代表作が木の車です。木の車はママの背中で遊んでもらいたい!という思いから、ママの背中を道路にして遊ぶ車のおもちゃとして誕生したそうです。その為、背中の上をコロコロしても気持ちいいように工夫されている、との事。では、子どもが、ママの背中で遊ぶとどのような効果があるのか?一緒に遊ぶ事でスキンシップトイになり、さらにコミュニケーショントイにもなるという事を想定されているそうです。ただ、この話を聞くまでは、私はあの木の車を背中に走らせる、とは想像しませんでした。しかし、そういう思いから作られていると知ると、メーカーの親子を思うあたたかい気持ちが伝わり、何だかあの車を使う時に、ほっこりした気持ちになるように思います。作り手の思いをもっと知る事が出来たらいいのに…ともこの話を聞いて思いました。すくすくルームにもありますので、是非試してみてくださいね。